



上下流域小学校等交流事業 山王小学校へ行きました

6月17日（月）に4年生が、山王小学校へ行きました。酒匂川がつなぐ両校の交流は年に2回計画されています。第1回は、山の学校が、海の学校を訪問しました。校庭は川村と違って松の木が多く、校庭を出てすぐ海があることに子どもたちは驚いていました。始めにNPO法人ディスカバーブルーの方の説明を受けて、その後山王小、川村小合同グループでビーチコーミングをしました。落ちていたものの中に、エボシガイがびっしりとついた中国製のペットボトルがありました。

波が色々なものを運んでくることや、生き物のたくましさを知るとともに、人間の生活が海岸の様子に大きな影響を与えていることを感じたようです。海でお弁当を食べたあと、扇町の水再生センターまでバスで移動し、下水処理場を見学しました。水について学んだ1日でした。

11月には、山王小が川村小へやってきます。どんな交流ができるか楽しみです。



富川先生の メダカの授業

6月18日（火）に体育館で、5年生を対象に、特別授業をしていただきました。講師は、富川孝治先生です。私が小学生の時の、隣のクラスの担任の先生です。

富川先生は、5年生全員分のケースに今朝生まれたばかりの卵を準備してきてくださいました。スクリーンに顕微鏡の画面が映し出されると、子どもたちから歓声があがりました。その後たくさん用意してくださった顕微鏡で、自分の卵を観察し、小さいながらも命の動きを感じ取っていました。教科書や図鑑だけでは学べない、貴重な命の授業でした。



交流清掃開始

これまで学級ごとに分担をして行っていた清掃を、6月から1～6年の縦割り班で行っています。1年生も学校生活に慣れてきたので、異学年交流をしながら清掃活動に取り組んでいます。新班長となった6年生は、下級生への指導にとまどいながら、次第に頼もしい先輩へと成長していくことでしょう。

異校種間交流 小学校から学ぶ 園から学ぶ

6月21日（金）に町内の3園から先生方が来校し、1日研修を行いました。1、2年の学級に入り、小学校の授業や生活の様子を体験するとともに、指導にあたっていただきました。児童は懐かしい先生にお会いし、良いところを見せようと張り切っていました。3園の先生方には、園での指導とのつながりを見ていただくことができました。小学校の担任も、園の先生方の緩急をつけた「聞かせる」指導について見習うことが大きかったと話していました。そして、互いにめざす子どもの姿は同じであるという思いを新たにすることができた1日でした。

青少年健全育成大会 生涯学習センター

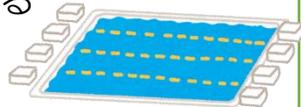
6月23日（日）に山北町主催で青少年健全育成大会が開催されました。前半はひばりオトナ合唱団によるコンサートがありました。400人以上が参加し大盛況でした。美しい歌声でみんながよく知っている歌をたくさん披露していただきました。トークコーナーではひばり合唱団と山北町との深いつながりについてのお話がありました。昔、川村小学校で活動していた頃の写真も複数あり、初めて知ったことがたくさんありました。



後半は、少年の主張作文コンクールの表彰がありました。本校では6年2組 片瀬 凧 さんが最優秀賞、6年1組 内田 藍 さんが優秀賞を受賞しました。その後、片瀬さんが壇上で作文を発表しました。長文にもかかわらず、堂々と暗記し顔を上げて発表した姿に、多くの方からお褒めの言葉をいただきました。同級生も数多く応援にかけつけ、まさに「がんばる自分 ささえる仲間」の姿をみることができました。

楽しい水泳学習

6月27日より水泳の授業が始まりました。しかし学習がスタートしたとたん、異常な暑さとなり、熱中症警戒アラートが度々発令されました。水の中での活動ではありますが、本校の場合は校舎からプールが離れていることもあり、アラート発令日は活動を中止としました。2年生が天候と相性が悪く、なかなか入れない日が続きましたが、なんとか全校児童が水泳学習を行うことができました。ニュースでプールや川での事故も多く報道されています。危険だから無くすのではなく、危険だからこそ身を守るすべをしっかりと身に付けさせたいものです。



読書のすすめ

川村小学校では、毎週木曜日の朝の時間は朝読書に取り組んでいます。町の図書館や、読み聞かせボランティア「スイミーさん」と連携して読書活動を推進しています。子どもたちが読んでいる本をみると、「ずいぶん変わったな」と思います。私が小学生の頃夢中で読んだ「あしながおじさん」や「赤毛のアン」「怪盗ルパン」などはなかなか手に取らないようです。時代でしょうか。残念・・・そこで、校長室前で「今週の1冊」と題して私のおすすめの本を置いています。これまで「おとうさんはウルトラマン」「かがみの孤城」「きょうはなんのひ」「きょうりゅうがまちにやってきた」などを紹介しました。夏休みを使って読書の楽しさを感じてくれたら嬉しいです。



校長室の窓から

いよいよ1学期が終わります。7月に入り異常な暑さが続き熱中症警戒アラートが度々発令されました。そのたびに水泳の学習を中止したり、外遊びを規制したりと対応を余儀なくされました。テレビで熱中症患者が救急搬送されたり、死亡したりというニュースを聞いたとき、他人ごとではなく、判断の難しさを感じてきました。「警戒アラートが発令されたので、今日の水泳は中止です。」と伝えると、残念な思いはありつつも、状況を理解して納得してくれた子どもたちに感謝です。その一方で、子どもたちにとっても、この暑さの中で活動することはとても苦しいのだと実感しました。大きなケガや病気、事故もなく1学期が終えることができそうで、ホッとしています。しかし、近頃地域の方から児童の登下校中の歩き方や、自転車での遊び方など、ご注意を受けることが多くありました。夏休みに入りますが、ご家庭でも改めて自他の命を守る過ごし方について話題にいただき、2学期も元気な笑顔に会えることを願っています。